

# 家庭と地域、学校と職場をつなぎ、育もう！とやまっ子

故郷に精神的根っこをもてるような体験を

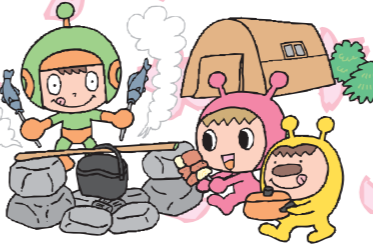
今、家庭、そして子どもたちを取り巻く環境が大きく変化してきています。これからの時代を生きる子どもたちを育てていく上で、家庭、地域、学校、職場それぞれがどのような役割を果たし、つながりあっていけるのか。「親として、企業人として～家庭教育を見直す～」などの提言や出前授業活動などにも取り組んでいる、富山経済同友会の中尾哲雄代表幹事にお話をうかがいました。



富山経済同友会 中尾 哲雄 代表幹事(インテック会長)

私の子ども時代は、友達と自然の中でウヤキを追いかけて山を駆け回り、野原を走り回り、家の手伝いをし、働きもしました。また、通学光景は横になって肩を並べ、おしゃべりしながらというものでした。「この通学の道」は雑談の場であり、勉強の場であり、友情の場でありました。人間形成の場でもありました。

富山県出身者でつくる県人会が、県内はもとより世界各地にあり、私も集まりに参加することがあります。その方とお会いするたびに、故郷への思いをきちんとつづいていこうという精神的な根っこがしっかりとついている方々であると感じています。



親の確かな「愛」は子どもに伝わる

私は、家族の誰かがお茶を出してくれば「ありが」といって、「おはよう」と家族があいさつを交わし合うなど、普通に両親がちゃんと生活すれば、子どもが育つと考えています。子どもがそうではない家庭があり、最近「家庭教育」が話題になることが多く、いろいろな思いがあります。私は「家庭教育」という言葉はあまり好きではありません。

「親の確かな愛は子どもに伝わり、伝わるものです。家庭は、親の愛が落ちあふれた場ではなければなりません。」



英国の古い町で見たことですが、子どもが買い物に来て、お礼を言わないと、「ありが」とい言いなさい、とお店の主人が教えていました。イギリスの社会全体に、「ありが」という言葉が満ちあふれているように思いました。

「ありが」とい言葉が少いように感じられます。形でもなく、わし合うような自然な形で、明るく元気な「とやまっ子」を育てる環境を築いていくことができないか、今後とも子育ての方々はじめ、皆さんとも力を合わせて地道に取り組んでまいりたいと思います。

## ともぞだち 家庭共育虎の巻

食はそれぞれ、心はひとつ ～2人のお母さんから～



「VJね、婆ちゃんの作ったチーズケーキうまいって食べてたよ。今度はアケキどう？」。一年生の孫ミク子の一言で、またレンジを見ながら再挑戦となりました。食べてくれた満足感も大きいのですが、父親の好みを知ったり、喜んでもらいたい気持ちまで考えるように成長したのだと思うと、より嬉しいのです。後日、父親が帰宅した際に「これ、ミク子提案のアケキ。おかげでケーキ作りについて自信がついたよ」と伝え、テーブルに出しました。孫は床の中で二ヤつとし、安心してか、眠りにつきました。

食べることは楽しくて嬉しいこと。自分や家族のために一生懸命の父や母の姿をちゃんと見て、感じて、子どもは育っていくものだと思います。それは少しでも食べてくれた喜びを伝え合うだけでも、お互いの誇りや心をプラスにすると感じました。特に食事は子どもへの心にあたたかな風景として残り、家族の絆や人へのあたたかさへと根を張っていくと信じています。

アドバイザー/子育てはオンライン電話相談員 堀 順子

職場と学校が連携して子どもたちに夢を

今の子供たちはパソコンの操作が速く、ロボットやメカニクスなども詳しく、その点では感心するのですが、パソコンから離れた友人といると情緒不安定になる、パソコンの前に行くべしと落ち着くといった「パソコン症候群」が指摘されたりしています。

「ありが」とい言葉が満ちあふれた社会に

子どもたちが安心して学校に通い学べるように、地域は子どもたちを見つめ、企業・職場は、社員が親として子育てにしっかりと関わることができるよう、「家庭と地域、学校と職場がつながりあって、環境をつくっていかなくてはなりません。」

## TOPICS

### ～健康で明るく元気なとやまっ子を育てるために～

#### 生活習慣づくりは、朝がポイント！

新「朝から元気なとやまっ子県民運動」食育・健康教育推進事業  
早寝早起きをする、朝ご飯をしっかり食べるなど、望ましい生活習慣が身につくように、学校・家庭・地域が連携し、県民みんなで子どもたちの生活習慣づくりを応援します。

#### とやまの自然を親子で満喫！

新「とやま子育て自然体験事業」  
市町村が行う宿泊型親子自然体験活動に助成します。また、「家庭教育かわら版」において、各市町村で取り組まれている実践事例や体験談等を掲載することで、親子の自然体験を促進します。

#### 運動大好きになろう！

新「とやま元気っ子育成推進事業」  
運動好きな子どもを育てるための「体力向上プログラム」(仮称)を策定し、幼稚園から高校までの子どもたちの体力向上を図ります。

#### 職場の子育て支援の取組みを応援します！

新「企業と連携した家庭教育支援事業」  
企業に勤める子育て中の方、明日の親となる若い方などを対象に、講演会やワークショップなどを実施し、企業の特徴ある家庭教育支援活動を応援します。

#### フォーラム記録ビデオを貸し出ししています！

「2005全国家庭教育フォーラムinとやま」(平成17年10月9日)開催の様子がビデオになりました。基調講演、分科会、パネルディスカッションや親子で遊ぼうコーナーなど、家庭教育のヒントがいっぱい。貸出しのお申し込みは、異生涯学習室まで。

### ～子どもの成長とともに親も学び育っていくために～

#### 新「親を学び伝えるサポート事業」

日常生活の中で起きるエピソード等を題材に、親としての心構えや子どもとの接し方を学ぶプログラムの作成に取りかかります。



#### （ネタ募集中！）

子育てにまつわる楽しい話や苦労した話などいろいろなエピソード募集中！あなたの体験をお待ちしています。

感想お待ちしております！

## 感想・投稿大募集!!

- ご家庭で取り組む「親子の約束」や「わが家のルール」
- 「ほっとタイムス」春号に関するご意見・ご感想
- 「ほく・わたしのお気に入りの一冊」
- 子育てに関する体験、エピソード など

採用された方には、トッピー、チャッピー、マッピーのキャラクター入りのオリジナルクリアファイルをプレゼント！

#### 表紙モデル&読者リポーター募集

紙面に登場してくださる元気な親子を大募集！お名前・住所・電話番号を明記し、写真同封の上、ご応募ください。一緒に楽しい紙面をつくりましょう!!

#### 宛先はこちら

〒930-8501 富山県生涯学習室かわら版「ほっとタイムス」係 (住所記載は不要です)  
☎ 076-444-3435  
FAX 076-444-4434  
E-mail shogaiakushu3@pref.toyama.lg.jp

#### 編集後記

桜の花が咲き出す直前の樹皮や樹液から色を取り出してみると、桜の花びらと同じような淡いピンク色に色づいている。桜の木全体でピンク色に染まっているのだ、というお話を本で読んだことがあります。冬の間、春を待ちながら、着実に自らの内側から春色に染まっている桜の木。他の草木や動物たちも、このように春の準備をしながら、冬を過ごし、それぞれの活動を始めています。春はまさに大地が蠢(うごめ)く季節です。子どもたちは、しっかりと富山の冬を過ごし、春を迎え、入学・進級を迎えます。子どもたちの胸にためこんだ思いは、どのようなのでしょうか。私たち親は、その子どもたちの心の内側の声に耳を傾け、認め、励まして、新たな春の季節の中へ送り出したいものです。

平成18年3月発行  
企画/富山県教育委員会生涯学習室  
〒930-8501 富山県新緑曲輪1-7  
TEL076-444-3435 FAX076-444-4434  
(平成18年4月より生涯学習室は「生涯学習・文化財室」となります)

## BOOK

### ほく・わたしの お気に入りの一冊

ロボット犬とつちー  
作・絵/山下友弘  
文彦堂



タイトルに惹かれて買った本ですが、パパと一緒に笑ったり手に汗握ったりしています。汐音もつちーのように、たくさんの仲間と囲まれて大きくなって欲しいものです。

月刊予約絵本  
「こどものとも年少版」通巻333号  
ひょうたんハウス  
作/土橋とし子 写真/小川忠博  
福音館書店



大阪弁&ひょうたん人の遊び方(プランクあそび)に2人とも大爆笑。何回も読んでとせがまれました。ひょうたんやさんというお菓子も出てきて面白く、とても喜んでいました。

## 子育てサークルのWA!!

### うさぎクラブ

リトミックやベビータッチで子どもとお母さんのふれあいのひととき

平成15年7月に下村交流センター・下村児童館が開館し、下村子育て支援センターが併設されました。「うさぎクラブ」の誕生は翌年4月。出産を控えた方や子育て中のお母さんたちに支援センターを気軽に利用してほしいと発足。17年度には、0歳から3歳児までの幼児とお母さん31組が参加しています。

主な活動は、健康運動指導士によるベビータッチ&親子フィットネス、保健師・子育てアドバイザーによる育児相談、発達測定などを行う「ほえみ相談」です。ベビータッチでは、横に寝かせた子どもの体をタッチしながら親子のスキンシップを図っています。親子フィットネスでは、タンバリンを叩いたり、曲などに合わせてリズム体操・リトミックに挑戦したり…。元気いっぱい駆け回る子どもたちの歓声がホールに響きわたっています。このほか、絵本の読み聞かせや出産後講座、季節ごとに装飾する壁画制作、誕生会、パネルシアターなど、多彩な活動が行われています。射水市の誕生に伴い、旧下村の方だけでなく、多くのお母さんたちと交流を深めていきたいと思っています。



## ほっとタイムス

### 読者レポート

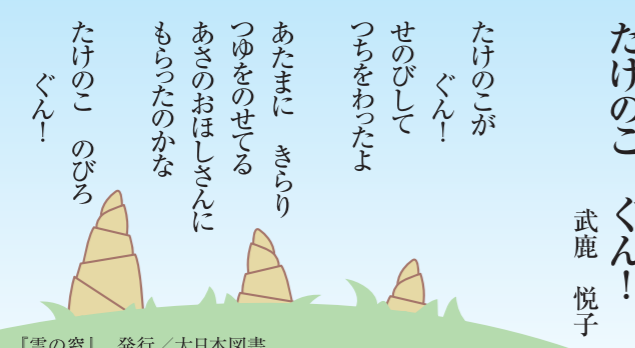
#### 2005全国家庭教育フォーラムinとやま

10月9日に、富山国際会議場を中心に行われた「2005全国家庭教育フォーラムinとやま」に娘(6歳)と親子で参加してきました。お菓子のおうちは人気があり、たくさんの方が並んでいて、順番待ちかなと思っていましたが、そんなに待たずに参加できました。娘はまるで物語のなかに入ったようで、好きな色のクリームやお菓子が飾り、いつもの料理のお手伝いとは違った感じで作っていました。大学生のお姉さんたちもわかりやすい説明で良かったです。すぐに食べられると思っていた娘も、家に持ち帰ってもこれないのので、大事に飾って父親に見せていました。これからもこのような行事を開催していただきたいと思いました。

(富山市 高田 孝江・西)

## いっしょにポ・エ・ム

親子で口ずさんでみたくなる詩、何度もくり返し読んでみたくなる詩…。親子で詩の世界を楽しんでみませんか。



「雲の恋」発行/大日本図書